

ポント・グロッサ治安情報(頻発するバス強盗事件)

ポント・グロッサ市内で発生しているバス強盗事件の情報を入手しましたところ、概要を以下のとおりお知らせ致します。

5月2日付当地ジリオ・ドス・カンポス紙(電子版)は、パラナ州ポント・グロッサ市内で4月にバス強盗事件が急増した件に関して報じています。ポント・グロッサ市内および近郊地域の路線バスを運行しているヴィアソン・カンポス・ジュライス社によると、今年4月におけるバス強盗事件件数が40件に達し、前年同月(17件)の2倍を上回る数字となりました。今年1月からの累計では79件と、前年同期(72件)に比べ横ばいであり、4月に入って急増したことが窺えます。4月30日にバス強盗未遂で軍警察に逮捕された少年は、以前に食料品店を襲った経歴があり、軍警察によると、こうした「常習犯」はナイフか、あるいは拳銃を所持していると仄めかし、運賃徴収人の手元にある現金を強奪するのが常で、逮捕されるまで犯行を止めない傾向にある由です。バス運行会社側も利用客にはプリペイドカードの使用を推奨し、車内での現金授受を減らす対策を取っていますが、強盗件数は減少していないとのことでした。

<当館からのお願い>

・昨今、強盗事件が頻発しています。軍警察の見解では麻薬購入の資金を稼ぐために中毒者が事件を起こしているものが大半であるとのことでした。発生時間帯も昼夜関係なくいたるところで発生しておりますので外出の際には十分に注意をお願い致します。また、強盗犯は麻薬中毒者の可能性が高いため、犯人を刺激するような言動・急な動作は控え、安易に抵抗はしないようお願い致します。

・万が一このような事件の被害に遭われた場合は、速やかに軍警察(Polícia Militar、電話番号190)に一報するとともに、被害届を最寄りの文民警察(Polícia Civil、電話番号197)に提出することが事件発生現場の巡回強化や捜査等にも繋がるため、非常に大切です。

・被害拡大防止のため、在留邦人等の皆様と(個人情報をふせた上で)情報を共有するためにも、当館(担当:警備班・領事班)へご連絡いただければ幸いです。